

進路だより

進路指導部
令和元年6月18日
第2号

楽しい・面白いが大事！！



キャリアプランニング株式会社
代表取締役社長 桑名 暢 様

年間 10,000 名以上の若者と保護者のために年間 200 回を超える講演や進路相談も行っている。「わかりやすく聞きやすい話し」「本気で向き合う大人の存在になる」を心がけ、若者の未来の為に奔走中。

全校の進路講話が5月28日に実施されました。今年はキャリアプランニング株式会社の桑名先生より「自分の夢・目標を持った時に叶う方向に考えよう」という内容でご講演いただきました。前向きに気持ちを持っていく意識をすることで楽しくなり、そしてチャンスが見つかるというお話でした。思い込みも「きめつけ」になってしまい、無理だと考えてしまう要因です。周りからのアドバイスも必要ですが、必ず自分で調べて自分の目で確かめて判断することが大切です。よく進学先や企業を探す時に「どこを見たらいいですか？」と聞く人がいます。先生たちも聞かれたらその生徒に合う学校や企業を紹介しています。講話の中ではどこを見たらではなく、「どこを見たいですか？」と自分に問いかけてみることも大事とありました。苦手だと思っていたことや嫌いと言い切れることで好きと言ってみると楽しくなってくるはずです。講話中、みんなが真剣にそして楽しそうに考えている姿を見て、少しは自分の進路に対して前向きに考えられるようになったのではないかと思います。

3年生は部活動もひと段落し、自分が働きたい企業、行きたい学校を探している最中です。中にはすでに試験に挑もうとしている人もいます。例年よりちょっと遅いけど、放課後に進路室に来て資料を探す人、進路の先生に相談しながら情報を集めている人が多くなったことは嬉しいことです。まず、自分がなにで迷っているのかを明確にて、それに向き合っていきましょう。

進学をする人はオープンキャンパスに参加して、自分が入ろうとしている学校を是非見てきましょう。ただ見るだけではなく、自分が学びたいことが学べるかしっかり話を聞くことが大切です。就職についても、なかなか職業を決められず悩んでいる人も少なくありません。7月4日（期末テスト最終日）には今年度の求人票が公開されます。実際に求人票を見て決める方法もありますが、やりたい仕事が見つからない場合は「自分がその職業に就いて仕事をしている姿をイメージ」してみましょう。「給料」や「休み」などの条件だけで判断すると、仕事についてから違和感が生じることがあり悩んでいる先輩方もいます。まだ少し時間があるので、自分を見つめなおし続けていける仕事を見つけていきましょう。

講話の様子と感想

進路委員長のことは

言葉を変えれば自分の周りが変わる。そして自分も変わることができるということを学びました。「私に何かできることはありませんか」の一言を実践していきます。意識するからチャンスがやってくることを学校生活や進路実現に向けて努力していきます。



前向きな発言をすれば自分の夢が叶うということが分かった。

「何かできることはありませんか」と聞けるようにしたい！



「行動の前に言葉を変える」が印象的だった！

話を聞いているうちに自分の考えがプラスに変わっていくのがわかった！！



「自分が変われば相手も変わる」を念頭に置いて生活していきます！！

「～だから」「私には無理」と決めつけて目の前のチャンスから逃げていた。これからは前向きに生活する。

